

Gender equality in science falls short in rich countries

概要：工業分野やコンピューター分野、情報分野などの科学業界においては女性の技術者は全体の規模から考えるとかなり少ない状態が続いている。この状況には地域差がないどころか、むしろ先進国において低い状態となっている。また科学業界においては女性の人数が少ないだけでなく、女性の仕事は過小評価されがちである。その評価は、女性の高給取りが少ないことや研究助成金を少額しか受け取れないことに反映されている。

このような伝統的な女性差別の流れを止めなければならない。この状態が続き、女性の科学の分野への貢献が過小評価され続けると、日常生活をよくする製品開発において女性の需要や視点が見落とされる可能性がある。

語彙リスト

Massive→大規模な

Excerpt→抜粋

Regional→地域の

Well-paid→高給の

Coincide→一致

Be underrepresented→過小評価される

Grants→助成金

Be sidelined→隅へと追いやられる

Perpetuating→永続している

Be overlooked→見落とされる

その他

日本においては研究者全体のうち女性の割合が増加してきてはいるのだが、2019年時点で16.6%と記事の中で低いと言われている先進国の数値の中でも目に見えて低くなっている。(イギリスでは38.7%、アメリカでは33.4%、比較的低い韓国においても20%はある。)

出典：https://www.mext.go.jp/kids/find/kagaku/mext_0004.html

文部科学省『女性研究者ってどのくらいいるの?』